

地元グルメを全力でPR～ ふらのカレンジャー娘

北海道富良野緑峰高等学校 園芸科学科

農山漁村における地域の活性化や、個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動を紹介するシリーズ。

今回は「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクールで優秀賞を受賞した団体、ふらのカレンジャー娘にお話をお伺いしました。

《きっかけ》

富良野市は北海道の中心に位置し、「へそのまち」と言われています。美しい四季と雄大な自然から農業と観光が盛んです。また、富良野市は採れないものは無いと言われるくらい、豊富な農産物と畜産物の生産が行われています。この地元の食材を使い、ご当地グルメブームを作るという話が有志の方々に盛り上がり、国民食である「カレーライス」を中心にやっぴこうということになりました。そこで富良野緑峰高校も町おこしのために一緒に活動することになり、「富良野オムカレー」を開発しました。平成16年に第1代目のふらのカレンジャー娘が誕生し、現在18代目に園芸科学科の三年生3人が就任し、19代目候補の二年生4人と一緒に協力して活動を行っています。

《おもな活動》

ご当地グルメ富良野オムカレーを通して、旬の富良野地域の食材を活かし、観光客や地元の人たちにPR・提供をしています。地元のスーパーでの試食会、各種



ご当地グルメ「富良野オムカレー」



18代目カレンジャー娘（右から丸山さん、田中さん、阿部さん）
9代目以降毎年、富良野市と友好都市の兵庫県西脇市の西脇高校からプレゼントされた播州織のエプロンを着用して活動

イベントの参加、地域の小学校などの食育活動を実施しています。

コロナ禍で自分たちがやりたい活動もなかなかできない状況でしたが、少しずつ状況が変化してきています。先日、富良野オムカレー提供店での接客・調理体験会を行いました。たくさんの人たちが富良野オムカレーを注文してくれて、直接PRができたことがうれしく、貴重な体験でした。このことは、提供店や商店街の協力がなければできなかったことです。

また、歴代の先輩たちのレシピをアレンジして「オムカード」を作成し、旬の野菜の情報も載せて配布することも考えています。

《今これからできること》

持続的に活動していくため、「子ども食堂」での富良野オムカレーの提供という計画を立てています。近隣の農家さんや企業に声をかけ食材の提供など、協力して貰える組織を作っていくことが、今後永く活動していくことにつながると考えていますし、子どもたちにも富良野オムカレーを知ってもらいたいです。

歴代の活動を引き継ぎ、魅力ある活動を行い、地域の人たちとの交流を大切にして、富良野市の地域活性化に貢献していきたいです。



今年5月「富良野オムカレー提供店での接客・調理体験会」の様子

※ 当協会ホームページ、開発調査総合研究所・調査研究報告書から「わが村は美しくー北海道」運動第1～9回受賞団体の活動概要をまとめた冊子をご覧ください。